ひろかだより

第298号
平成29年5月18日
発　行
弘果弘前中央青果株式会社
弘前市大字末広１丁目2-1
ＴＥＬ　0172-27-5511
ＵＲＬ　http://www.hiroka.jp

弘前水産
市場開放 土曜市
毎週土曜日　午前7時～午前10時
好評開催中!!
※市場休市日は休みです。

弘果2年連続200億円台
津軽市場最高更新118億円
28年産りんご止市

弘果及び津軽りんご市場に於いて4月28日、28年産りんごの止市が行われました。

両市場を合わせた28年産りんご取扱数量は、761万6738箱（前年比93．6％）、1箱あたりの平均単価は4465円（同106．2％）となり、取扱金額が弘果では2年連続となる200億円を超え、221億9200万円を記録し、津軽りんご市場では118億7900万円と、27年産に続いて過去最高を更新しました。

活気あふれる弘果りんご止市

弘果

午前8時45分より行われた止市には、生産者約600人、買参人約200人が来場。止市にあたり葛西静男専務は「28年産は、干ばつ、日照不足等の影響で、小玉傾向、サビ果が多い等、生産者は苦労された1年だったと思います。そのような状況の中、皆様の努力で美味しいりんごに仕上げ、出荷していただいたことに感謝します」と挨拶しました。

その後、弘果りんご買参人共進会森山博幸会長による手締め、弘果りんご連絡協議会木村良一会長の音頭で乾杯を行い、28年産最後の競売が始まりました。

当日は1万8181箱（前年比79．0％）が入荷し、「ふじ」上実の高値は9720円（同90．0％）、同小玉7020円（同72．2％）での取引となりました。

葛西専務は止市後、28年産の販売について「全体の4分の3を占める12月までの販売は堅調に推移しましたが、年明け以降は、米国産の豊作の影響で輸出が伸び悩んだ事や、国内では、競合する果実が潤沢に市場へ出回った事で苦戦しました。今日の止市は、平年に比べると高値で取引されました」と締めくくり、29年産について「摘果を進め、食味が良く、大玉の生産を心掛けていただきたい」と話しました。

平成28年産の取扱数量は493万8659箱（同91．8％）、平均単価4494円（同105．5％）となりました。

津軽市場

午前7時30分より行われた止市には、生産者約1000人、買参人約120人が来場。

当日は1万4050箱（前年比106．4％）が入荷し、「ふじ」上実の高値は9720円（同90．0％）、同小玉7020円（同67．0％）での取引となりました。

石戸谷繁副社長は28年産について「主力の『サンふじ』にサビ果が多く見られましたが、全体的には小玉傾向ながら食味が良く、数年前からの高値傾向から活発な取引となりました」と締めくくり、また「高値を背景に、生産者の選果が甘い等、反省すべき点もあります。29年産は選果を徹底することで、まだまだ高値が期待できると思います」と話しました。

平成28年産の取扱数量は267万8079箱（同97．1％）、平均単価は4436円（同108．3％）となりました。

取扱金額が過去最高となった津軽市場りんご止市

弘果りんご連絡協議会青年部
創立30周年の節目祝う

弘果りんご連絡協議会青年部（安田英広部長）創立30周年を記念して4月17日、弘前市ラグリーに於いて、部員、関係者約100名が出席し、式典が開催されました。

同部は、39歳までの出荷組合の農業後継者を対象とし、「後継者相互の親睦を図るとともに、りんご販売意識を高め、さらに高度生産技術の習得」を目的に創部されました。現在95名の部員が活動を行っています。

式典では安田部長が「近年は生産者の高齢化、労働力不足、後継者不足など生産現場は厳しい環境下にあります。その様な状況の中、高品質な美味しいりんごを生産することで、価格も好調に推移していることから、希望を見出した新規就農者も増え、未来に向けて一筋の光が差してきています」と挨拶。その後、七代から十二代までの歴代部長に感謝状が贈呈され、節目の年を祝いました。

功績を讃え表彰された歴代部長

これまでの感謝と明るい未来に向けて式辞を述べる安田部長

りんごトレサビ（TS）について

平成29年度りんごトレサビの書類が発送完了しました。

本年度は重要なお知らせもございますので、お手元に届き次第、早急に開封し、書類の確認をしてくださいますようお願いします。

※尚、受付は7月24日（月）から始まります。

今が旬！ アスパラガス

アスパラガスの成長を確認する古川さん

津軽地方で栽培される「アスパラガス」は、雪深い土の中で越冬した地下茎から、春の暖かさを感じ徐々に成長します。そして現在、収穫のピークを迎えています。

つがる市森田町の古川信春さんは、岩木山を望む約40アールの園地でアスパラガスを栽培しています。出荷は、27～28センチ程のものを収穫し、150グラム一束にしてコンテナに詰めています。毎朝自ら市場に足を運び出荷し、競売を見守る事が日課となっています。

古川さんはアスパラガスの栽培について「前年の管理次第で作柄が決まると言っても過言では無いくらい、畑の管理が重要」と話し、今年の作柄について「今年は雪解けが遅かった影響から、生育が1週間から10日程遅れているが、品質は良好で美味しく仕上がっている」と話していました。

アスパラガスはクセが少ないので、色々な食材と相性が良く、調理を工夫して更に美味しくいただけます。今が旬の地場のアスパラガスを是非お召し上がりください。

「農」の「業」を継ぐ 期待の後継者

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

相馬 崇宏さん（24）

【家族構成】両親、妹、祖父母の6人家族
【住所】弘前市大沢
【作付状況】ハウス6棟（16アール）でミニトマトを栽培
【就農年】2016年
【きっかけ】高校卒業後、観光の仕事に携わりたいと考え、静岡にある観光の専門学校で学び、東京のホテルに就職しました。業務で「食」の分野に携わる事があり、その時、料理に於ける素材の大切さを実感し、また、実家で作っているミニトマトを職場の同僚に食べてもらった際、その美味しさに感動している様子を見て「素材を供給する側となり、人を感動させたい」と思い、実家のミニトマト栽培を継ぐ事を決意し、帰郷して就農しました。
【現在】農家の仕事は多岐に渡ります。施設の設置、維持、管理に関する建築・土木・機械等の工学、栽培管理、農業経営等様々な分野の知識が必要と実感しています。一人前の「農家」となるため、日々経験を積み学んでいます。
【夢・展望】生産・流通についてもっと勉強し、更なる品質の向上と、栽培・経営の効率化を図り、規模の拡大を目指していきたいと思っています。
【座右の銘】「歩々是道場」（ほほこれどうじょう）心掛け次第でどんな場所や状況でも、自分を高める道場となる。日々の過程が人生に於いて重要だと考えています。

桃出荷組合「桃娘（ももこ）倶楽部」高品質生産に向け講習会開催

更なる栽培技術向上へ意欲的に取り組む参加者

当社へ全面的に桃を出荷している弘前市高杉地区の若手生産者で組織する出荷組合「桃娘（ももこ）倶楽部」（棟方健二会長）は4月15日、更なる高品質生産を目指し、同市糠坪の棟方会長園地に於いて、講習会を行いました。

当日は組合員及び関係者15名が参加、肥料販売業者「大豊物流」から講師を迎え、剪定・摘芽・摘蕾・摘花や、効果的な施肥方法等について説明・実演がありました。参加者は、自身の栽培方法と比較し、栽培技術向上に意欲を見せていました。

当社では労力軽減、所得向上を目的に、選果機を利用し、オリジナルブランド「つがりあん」として販売しております。現在生産者を募集していますので、お問い合わせは当社果実部まで。

生産者団体定時総会開催

弘果グループ関係団体（9団体）では、3月下旬から4月中旬にかけて、定時総会を行いました。

各団体の総会では、平成28年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画案、予算案がそれぞれ審議、可決され、平成29年度のスローガンが読み上げられ、満場の拍手を以て採択されました。

また、津軽りんご市場連絡協議会青年部では、任期満了に伴う役員改選が行われました。

津軽りんご市場連絡協議会 青年部

秋田拓伸新部長

【部長】秋田拓伸 G.P.D51出荷組合（新任）
【副部長】長峰良孝 堂志出荷組合（再任）、
【副部長】浅利純一 野木りんご研究会（新任）

選手の健闘を讃える 弘果スキーレーシングクラブ 成績報告会

弘果スキーレーシングクラブが2016－2017シーズンの全日程を終了し、4月25日に弘前市フォルトーナに於いて、成績報告会を開催しました。

関係者約80人が出席した報告会では、今シーズンの成績が発表され、全日本スキー選手権大会のチームスプリント3連覇、国体冬季大会の女子20キロリレー2位入賞など好成績を残した開坂優、松舘由樹両選手が表彰されました。

開坂選手は「応援していただいた皆様に感謝しています。新たなシーズンに向け、活躍できるよう頑張ります」と来シーズンに向けての意気込みを話しました。また、今シーズンで選手生活を引退した松舘選手は「チームに入って3年という短い期間でしたが、皆様に支えていただき、大好きなスキー競技をすることができました。競技からは退きますが、これからも前に向かって進んでいきます」と途中涙ぐみながらも、引退への思いを話しました。

その後乾杯が行われ、練習風景や大会での活躍を映像で振り返り、選手の健闘を讃えました。

選手生活引退を報告する松舘選手（右）

農作業中の万が一の事故をしっかりサポートする

傷害保険

【特徴１】園地以外での農作業中の事故も補償致します。
【特徴２】作業期間に合わせて短期間でムダのない補償内容です。
【特徴３】事業主様とその家族に加え、臨時雇用の方まで幅広く補償致します。

詳しいお問い合わせは
弘果コスモ保険サービス㈱
電　話０１７２（29）３３５３
ＦＡＸ０１７２（27）３４１１